

| | | | | | |
|---|------------|----------|---|------|------------------|
| 株式会社コンテック | | サポート技術情報 | | 情報番号 | STI01B02-PPC-R01 |
| IPC テクニカルインフォメーション E-Mail :ipc-info@contec.co.jp FAX : 06-6477-6279 | | タイトル | マルチ CPU 構成時の基本セットアップ手順 (GX Developer Ver7 、 パソコン CPU 設定) | | |
| 作成日 | 2001/11/15 | 機種名称 | 備考 | | |
| 改定日 | 2001/11/15 | PPC シリーズ | | | |

パソコンCPUとシーケンサCPUのマルチCPU構成時に最低限必要なパラメータ設定方法について記述します。

■前提条件：

- ①GX Developer Ver7 がインストールされている事。
- ②パソコンCPUユニット用バスインターフェイスドライバ (PPC-DRV-01) がインストールされている事。

■設定方法：

ここではマルチCPU構成で立ち上げた時にシーケンサCPUのERR LED が点滅している状態を想定し、エラー状態を回避する方法 (RUN LED を点灯) について記述します。

1.GX Developer を起動し「プロジェクト」=>「プロジェクト新規作成」を選択します。

PCシリーズ：QCPU(Qモード) PCタイプ：使用しているシーケンサCPU機種を選択 (例) Q25H

2.「オンライン」=>「接続先指定」でパソコン側I/F「Qシリーズバス」を選択。(右端に隠れていますので注意!!) 念のため「通信テスト」を実行し「OK」を選択。

3.プロジェクトデータ一覧内「パラメータ」=>「PCパラメータ」をダブルクリック

1)マルチCPU設定：ウインドウ画面下から2番目を選択 CPU台数(*)を2台に設定し設定終了。

2)I/O割付設定：下記は一例です。

| スロット | 種別 | 型名 | 点数 | 先頭XY |
|------|--------|---------------------|-----|--------------------------------|
| 0 | CPU | 1号機 Q25H | | 3E00 |
| 1 | CPU | 2号機 PPC-CPU (686)MS | | 3E10 |
| 2 | 1(*-1) | 空き | 16点 | ← パソコンCPUは2slot占有するため[空き]にします。 |
| 3 | 2(*-2) | 空き | 16点 | ← PC-HDD(MS)-5は「空き」としてください。 |
| 4 | 3(*-3) | 入力 QX40 | 16点 | |
| 5 | 4(*-4) | 出力 QY40P | 16点 | |
| 6 | 5(*-5) | インテリ QJ61BT11 | 32点 | |

その他：ハードディスクユニット (PC-HDD(MS)-5) は実際のI/O割付点数は0ですが、上記は空きスロットの割付点数です。

3)プログラム設定：プログラム名1にMAINを挿入 (仮) してください。

4.「オンライン」=>「PC書き込み」でパラメータを書き込みます。

5.作成したプロジェクトを保存します。プロジェクト=>プロジェクトの名前を付けて保存

6.スタートメニュー=>プログラム=>パソコンCPU=>「パソコンCPU設定」を起動

マルチCPU設定=>マルチCPUパラメータ流用を選択し、作成したプロジェクトファイルを選びます。

「適用」=>「はい」=>「OK」

7.1号機シーケンサCPUをリセットしERR LEDが消える事を確認します。

エラーLEDが消えない場合は、GX Developer で診断=>PC診断を実行しエラー情報を取得してください。

■良く発生するエラー情報

1)エラーコード：1号機 2501 Can't EXE. PRG. → シーケンサのプログラムが無い状態です。3 (3) MAIN の設定が必要)

2)エラーコード：1号機 7000 MULTI CPU DOWN

2号機 3012 PARAMETER ERROR

→ マルチCPUパラメータを1号機にあわせませす。(*)の設定を合わす必要がありますが、システム設定の「空きスロット点数」は*マークが付いていませんが設定は一致させて置く必要があります。

以上